

令和7年度文部科学省委託事業 いじめ対策・不登校支援等推進事業
いじめ・不登校等の未然防止等に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究

福祉に関する教職員向けの研修

第5科目

ミクロ実践

スクールソーシャルワーカーとの協働

講師 氏名

講師 所属・役職

■ 研修テキスト執筆・講義用資料作成 ■

奥村 賢一(福岡県立大学人間社会学部 准教授)

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

(1) 個別支援のアセスメント

① 不登校 不登校児童生徒について把握した事実 (小・中学校)

国公立	不登校児童生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	入学、転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつとの相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった	左記に該当なし
小学校	137,704	2,533	16,229	6,090	21,245	2,753	5,262	14,137	23,210	36,053	2,422	41,411	33,193	13,279	11,195	8,251
		1.8%	11.8%	4.4%	15.4%	2.0%	3.8%	10.3%	16.9%	26.2%	1.8%	30.1%	24.1%	9.6%	8.1%	6.0%
中学校	216,266	2,380	30,395	5,025	33,907	4,473	11,319	14,261	21,347	52,510	8,139	65,025	52,661	13,386	11,322	10,553
		1.1%	14.1%	2.3%	15.7%	2.1%	5.2%	6.6%	9.9%	24.3%	3.8%	30.1%	24.4%	6.2%	5.2%	4.9%
合計	353,970	4,913	46,624	11,115	55,152	7,226	16,581	28,398	44,557	88,563	10,561	106,436	85,854	26,665	22,517	18,804
		1.4%	13.2%	3.1%	15.6%	2.0%	4.7%	8.0%	12.6%	25.0%	3.0%	30.1%	24.3%	7.5%	6.4%	5.3%

文部科学省(2025)「令和6年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

(1) 個別支援のアセスメント

① 不登校 不登校生徒について把握した事実（高等学校）

	不登校生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	入学、転編入学、進級時の不適應による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつに関する相談があった	障害（疑い含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	個別の配慮（障害（疑い含む）以外）についての求めや相談があった	左記に該当なし
国公立																
高等学校 ※	67,782	642	6,943	861	8,654	1,176	4,761	3,190	4,544	17,787	3,147	18,236	10,827	1,572	1,503	8,087
		0.9%	10.2%	1.3%	12.8%	1.7%	7.0%	4.7%	6.7%	26.2%	4.6%	26.9%	16.0%	2.3%	2.2%	11.9%

※国公立全日制及び公私立定時制の合計

文部科学省(2025)「令和6年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

①不登校



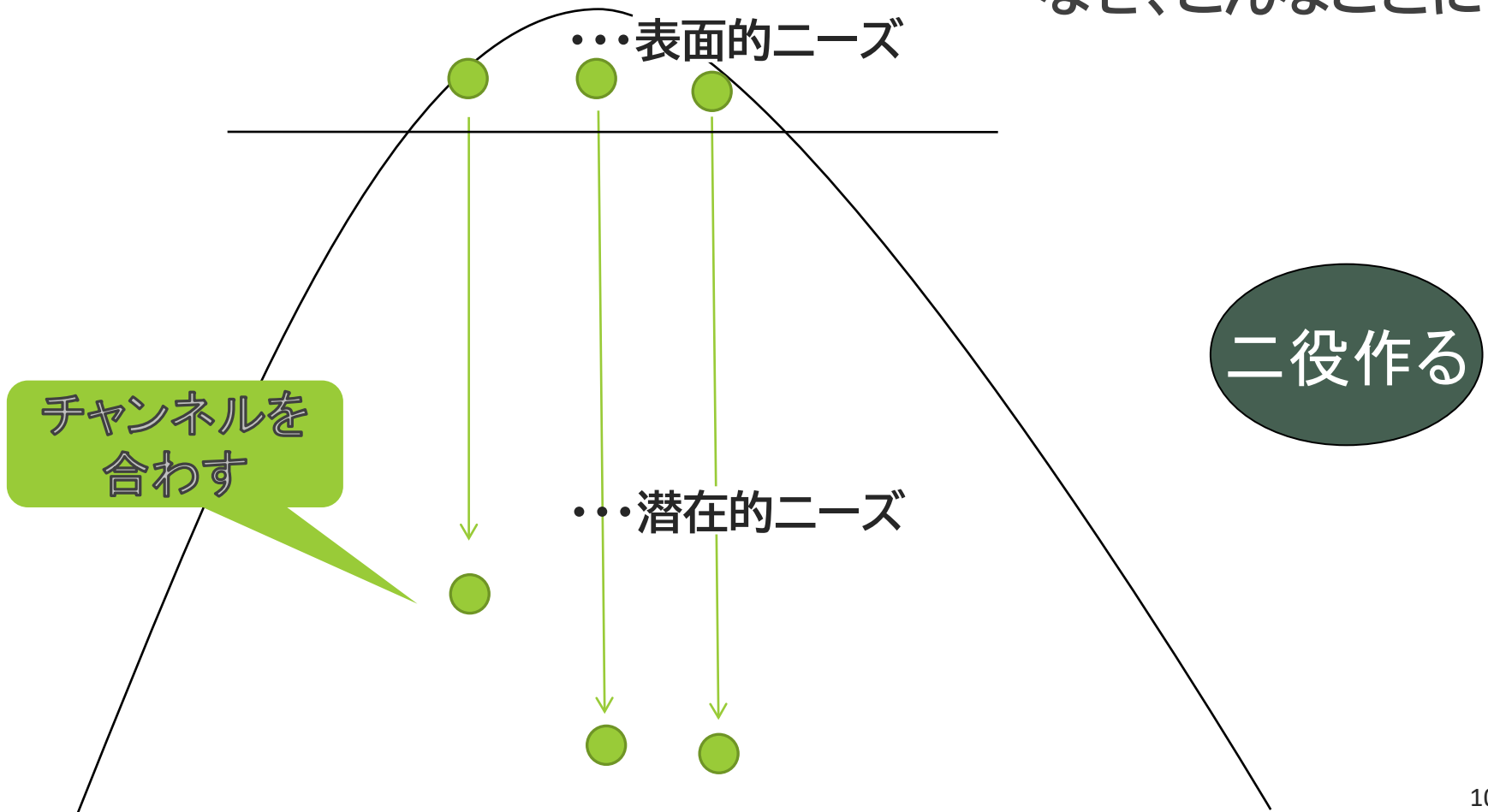
筆者作成

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

アセスメントに基づく基本的視点

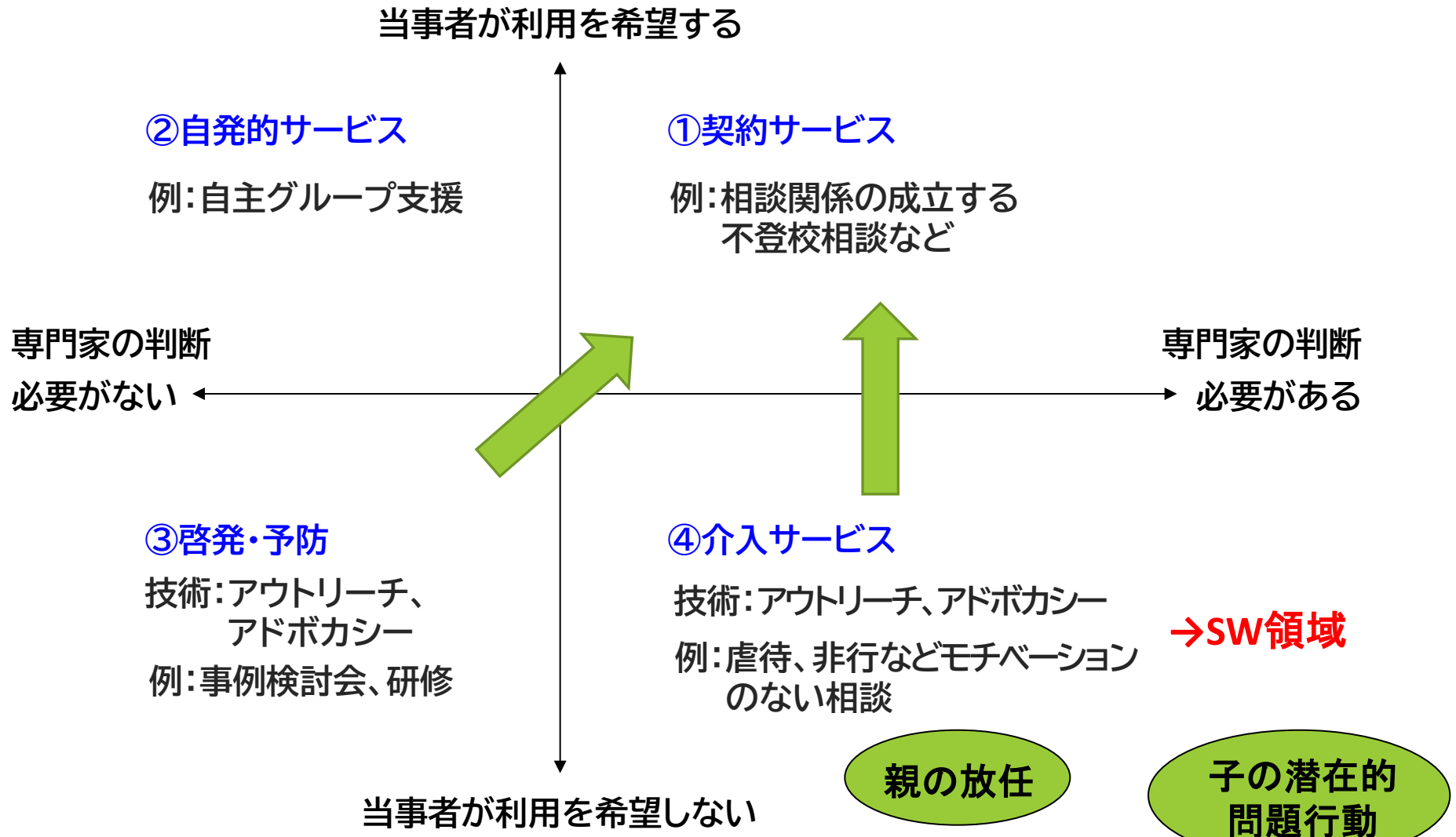
*アセスメント=本当のニーズを探る

～なぜ、こんなことに？



1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

SSWの価値：学校が困っている領域



出所：山野則子作成(2007)

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

① 不登校



SSW…スクールソーシャルワーカー SC…スクールカウンセラー

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

中学校に行きたくない理由TOP10	
1位	疲れる(44.0%)
2位	朝、起きられない(35.6%)
3位	授業がよくわからない・ついていけない(33.3%)
4位	友達とうまくいなか(28.5%)
5位	小学校の時と比べて、良い成績が取れない(27.1%)
6位	テストを受けたくない(27.0%)
7位	先生とうまくいかない／頼れない(26.1%)
8位	学校は居心地が悪い(25.9%)
9位	校則など学校の決まりが嫌だ(22.5%)
10位	小学校の時と比べてつまらない(21.8%)



日本財団(2018)「不登校傾向にある子どもの実態調査報告書」を基に筆者作成

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

②非行

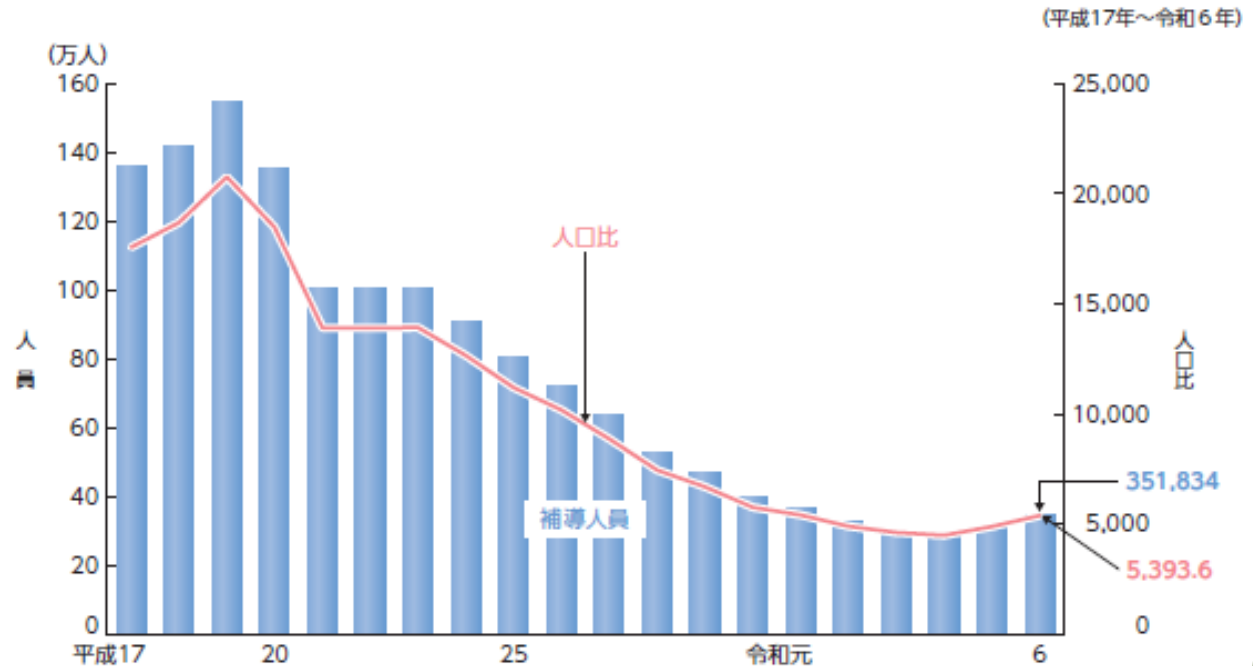
犯罪

触法

虞犯

不良行為	
1	飲酒
2	喫煙
3	薬物乱用
4	粗暴行為
5	刃物等所持
6	金品不正要求
7	金品持ち出し
8	性的いたづら
9	暴走行為
10	家出
11	無断外泊
12	深夜徘徊
13	怠学
14	不健全性的行為
15	不良交友
16	不健全娯楽
17	その他

不良行為少年 補導人員・人口比の推移



- 注 1 警察庁生活安全局の資料及び総務省統計局の人口資料による。
 2 「不良行為少年」は、犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年には該当しないが、飲酒、喫煙、深夜はいかいかいその他自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年をいう。
 3 「人口比」は、14歳以上の少年10万人当たりの補導人員である。

法務省(2025)「令和7年版犯罪白書」

警察庁(2024)『「不良行為少年の補導について」の制定について』を基に筆者作成

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

③虐待

事実関係



再発防止



児童虐待の防止等に関する法律
(児童虐待に係る通告)

第六条 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

③虐待

身体的虐待

- ☑ 確認(傷・痣の数・部位・サイズ・程度 etc.)
- ☑ 記録(日時、客観的事実、主観的認識、画像 etc.)
- ☑ 緊急性の判断(生命の危険、本人の拒否、保護者の不在 etc.)

心理的虐待

- ☑ 確認(面前DV、著しい暴言、無視、きょうだい間の差別 etc.)
- ☑ 記録(日時、客観的事実、主観的認識 etc.)
- ☑ 緊急性の判断(生命の危険、本人の拒否、保護者の不在 etc.)

ネグレクト

- ☑ 確認(不作為行為、マルトリートメント etc.)
- ☑ 記録(日時、客観的事実、主観的認識 etc.)
- ☑ 緊急性の判断(生命の危険、本人の拒否、保護者の不在 etc.)

性的虐待

- ☑ 確認(深夜徘徊、不純異性交遊、メンタルヘルス etc.)
- ☑ 記録(日時、客観的事実、主観的認識 etc.)
- ☑ 緊急性の判断(生命の危険、本人の拒否、保護者の不在 etc.)

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

③虐待

要保護児童対策地域協議会

要保護
児童

要支援
児童

特定
妊婦

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

③虐待

要対協



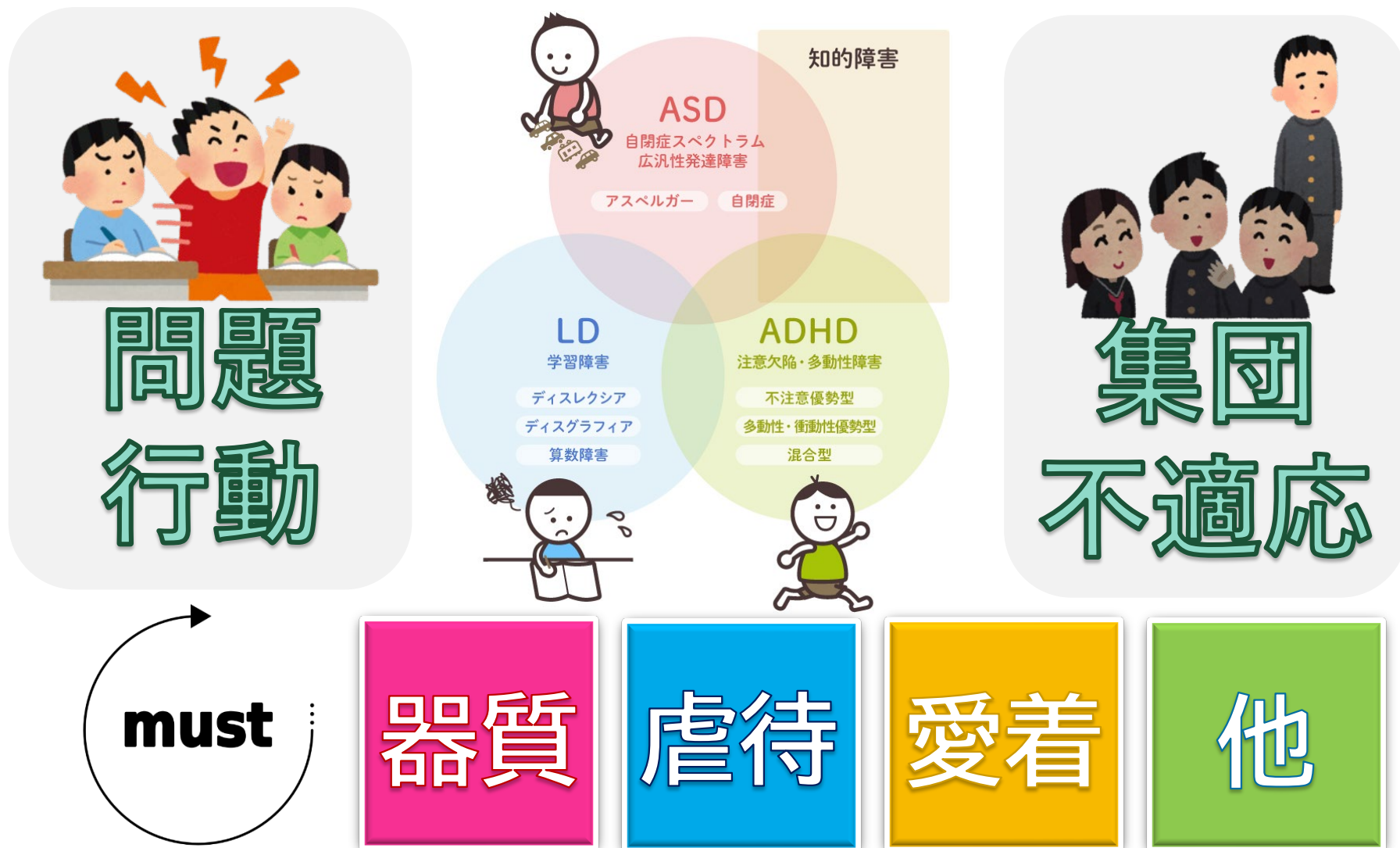
代表者会議

実務者会議

個別ケース
検討会議

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

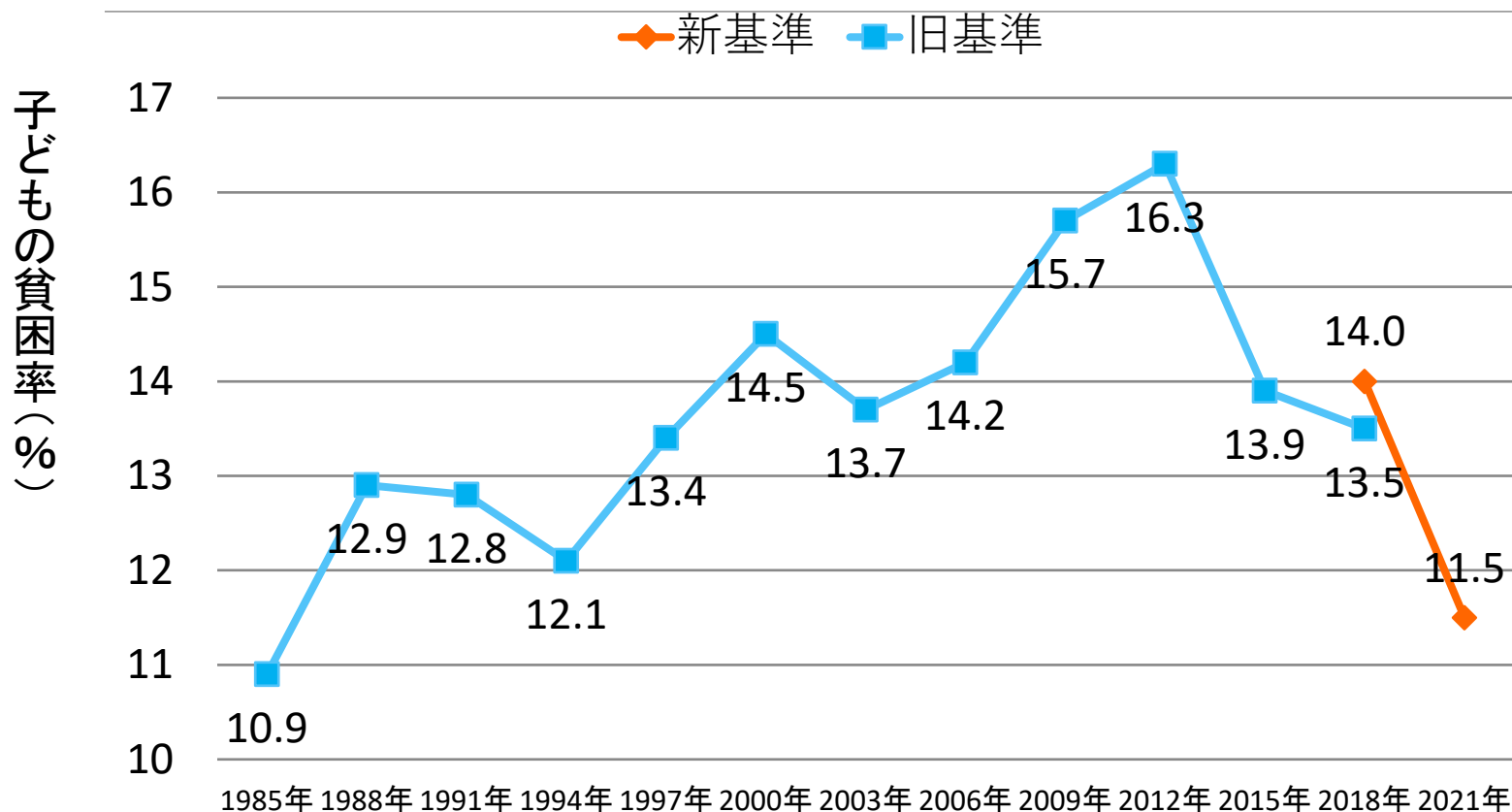
④発達障害



1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

⑤保護者

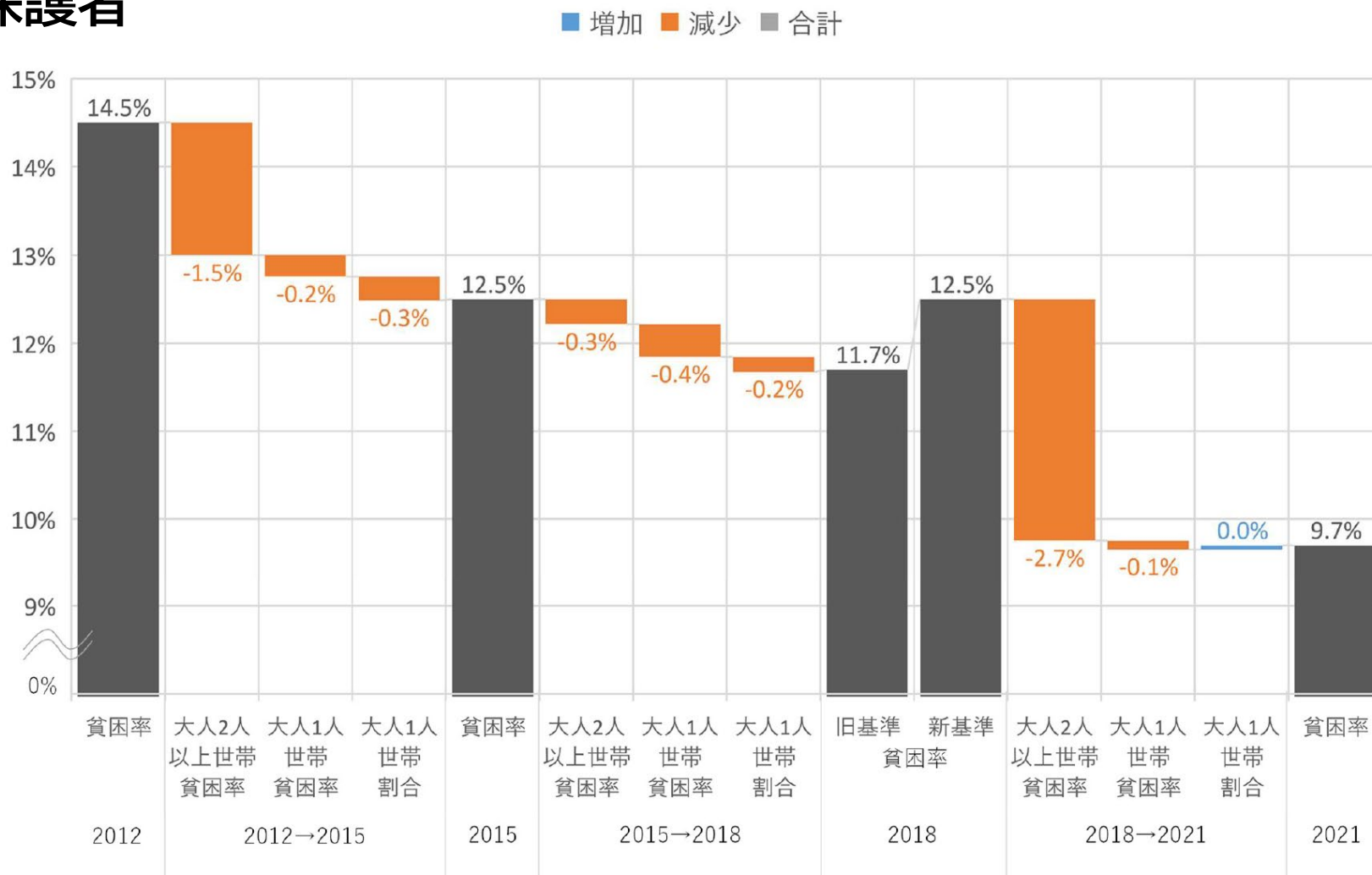
子どもの貧困



厚生労働省(2023)『2022年 国民生活基礎調査の概況』を基に筆者作成

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

⑤保護者



三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2023)『『子どもの貧困』はなぜ下がっているのか？—統計的要因分析—』
https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2023/08/seiken_230814_02_01.pdf

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

	母子世帯	父子世帯
1 世帯数	119.5万世帯 (123.2万世帯)	14.9万世帯 (18.7万世帯)
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 79.5% (79.5%) [79.6%] 死別 5.3% (8.0%) [5.3%]	離婚 69.7% (75.6%) [70.3%] 死別 21.3% (19.0%) [21.1%]
3 就業状況	86.3% (81.8%) [86.3%]	88.1% (85.4%) [88.2%]
就業者のうち 正規の職員・従業員	48.8% (44.2%) [49.0%]	69.9% (68.2%) [70.5%]
うち 自営業	5.0% (3.4%) [4.8%]	14.8% (18.2%) [14.5%]
うち パート・アルバイト等	38.8% (43.8%) [38.7%]	4.9% (6.4%) [4.6%]
4 平均年間収入 [母又は父自身の収入]	272万円 (243万円) [273万円]	518万円 (420万円) [514万円]
5 平均年間就労収入 [母又は父自身の就労収入]	236万円 (200万円) [236万円]	496万円 (398万円) [492万円]
6 平均年間収入 [同居親族を含む世帯全員の収入]	373万円 (348万円) [375万円]	606万円 (573万円) [605万円]

厚生労働省(2023)『令和3年年度 全国ひとり親世帯等調査結果の概況』

1. 個別支援アセスメントとプランニングの実際

(2) 個別支援のプランニング

CASE CONFERENCE



2. ソーシャルワークの視点から捉える事例演習

(1) 不登校事例

①事例概要

- ・対象生徒: 中学校1年生 女子A
- ・家族構成: 母(保険代理店)、姉(専門学校)、本児の3人家族

②演習テーマ

- ・Aが学校生活や家庭生活で抱える課題について検討する。
- ・不登校になってしまったAに対して、学校が取り組むべき課題について整理する。
- ・Aに対する支援体制および具体的なアプローチについて考える。

③進め方(例)

- ・6人程度のグループを作り、司会と記録を決める。協議で出された意見等は、模造紙やホワイトボードに書き出していく。
- ・1回目の協議(20分)では、Aが学校生活と家庭生活で抱える課題について意見を出し合う。その際、各生活場面で抱える課題の関連性についても検討を行う。
- ・2回目の協議(20分)では、これまでの学校の取り組みに何が不足しているかを議論し、これから学校が取り組むべき新たな支援内容について検討を行う。

2. ソーシャルワークの視点から捉える事例演習

(2) 非行事例

①事例概要

- ・対象児童:小学校6年生(特別支援学級) 男子B
- ・家族構成:父(自営業)、母(専業主婦)、本児、弟(小1)、妹(3歳)

②演習テーマ

- ・Bの学校での対人トラブルを予防していくためのチーム支援について検討する。
- ・過去の補導事案の要因について、学校・家庭・地域での生活状況から分析を行う。
- ・父親の暴力を回避しつつ、家庭と協力してBを支援していく方法について考える。

③進め方(例)

- ・6人程度のグループを作り、司会と記録を決める。協議で出された意見等は、模造紙やホワイトボードに書き出していく。
- ・1回目の協議(20分)では、Bが学校で落ち着いている場面と、トラブルが発生した不穏な場面に着目し、その要因について、人・場所・環境に着目をした議論を行う。
- ・2回目の協議(20分)では、過去の補導事案を参考に、Bが学校や家庭で抱えるストレスに着目し、それらを軽減していくために学校が取り組むことができる支援について検討を行う。

2. ソーシャルワークの視点から捉える事例演習

(3) 虐待事例

①事例概要

- ・対象生徒: 中学校2年生 男子C、小学校3年生 男子D
- ・家族構成: 母(パート)、本児兄(中2)、本児弟(小3)

②演習テーマ

- ・兄弟の困り感を検討したうえで、改善すべき課題に優先順位をつける。
- ・栄養面や衛生面に課題を抱える兄弟に学校が出来る支援を検討する。
- ・仕事を掛け持ちして子育てに余裕のない母親に対して働きかける方法を考える。

③進め方(例)

- ・6人程度のグループを作り、司会と記録を決める。協議で出された意見等は、模造紙やホワイトボードに書き出していく。
- ・1回目の協議(20分)では、兄弟が日常生活のなかで困っていることについて、子どもの目線に立って考える。その際、家庭に問題ばかりに目を向けるのではなく、学校生活上にどのような困り感があるかを議論する。
- ・2回目の協議(20分)では、兄弟に対する支援として、小学校と中学校がそれぞれ行うことができる取り組みと、小中連携で行うべき取り組みについて検討する。

研修お疲れ様でした♪

